

Le Ali



ホームページ <http://www.iken.gr.jp>

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

■会員便り ラティエーナ在住会員 村上佳子

イタリア語で日本の伝統について説明することほど、難しいことはないと感じる。イタリアの事は随分勉強したが、逆に日本の事に関心を持って学ぶのを怠ってきたことの代償なのか、自分の国の事象について説明するのにつまずくことも少なくなく、無知な自分が情けなくなる。例えば、“だるま人形”“こけし人形”を見てこれは何ですかとイタリア人に聞かれた場合、それぞれの由来に理解していないとうまく説明できないし、“春雨”“水飴”をイタリア語訳するにあたっては原料についての知識が不可欠だ。イタリア語を翻訳するについても同様で、日本語の語彙がしっかりしていないと、きちんとした翻訳はできない。外国語をマスターするには日本語そして日本人としての教養が不可欠だということだろう。

イタリアに住んで12年になるが、今後イタリアに長く住み続けたとしてもイタリア人にとって私はいつまでも日本人。日本に生まれ日本で育ったアイデンティティーはどこに身を置いても不変だ。だからイタリアを理解するためのイタリア語だけでなく、日本を理解してもらうためのイタリア語も身につけるよう心がけなければと感じている。

10月の第一日曜日、ローマのテルミニ駅から近い Hotel Diana で“日本文化祭”が催された。東日本大震災の被災者への義援金を集めるためにローマに在住する日本人音楽家仲間を中心に有志が集まって企画した手作りのイベントだ。会場の屋上テラスには、茶道・華道・書道のデモンストレーション、着物の着付けと記念写真、おりがみ教室のコーナーがそれぞれ設けられ、日本歌曲のミニコンサートや、スタッフが持ち寄った日本の品物のバザーも催され、日本に関心がありチャリティーに寄与したいという多くのイタリア人客で賑わった。日本の伝統芸を伝えるりっぱな文化交流の場が創造されていたが、このイベントを支えていたのは、日本への友情のしるしとして会場を無料で提供してくれたホテルのイタリア人オーナー、そしてイタリアに長く在住しイタリア文化を存分に吸収しながらも、きちんと身に付けた日本の伝統芸を誇りにしている元気な日本人女性たちであった。



検定ニュース

◇2011 年秋第 33 回試験志願者数報告

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	合計
札幌	1/1	4/4	7/8	10/13	8/11	30/37
仙台	1/1	3/4	6/6	1/3	6/6	17/20
東京	48/51	162/190	211/242	226/265	141/175	788/923
横浜	7/7	29/35	38/46	53/60	42/49	169/197
金沢	0/1	1/1	3/3	3/3	2/5	9/13
名古屋	3/3	20/20	29/34	28/31	31/36	111/124
京都	8/9	17/22	53/56	33/42	18/24	129/153
大阪	11/11	53/57	71/79	67/81	54/63	256/291
岡山	0/0	3/5	8/10	6/7	4/6	21/28
広島	2/2	2/2	5/7	4/4	4/6	17/21
福岡	0	9/10	13/19	22/24	21/23	65/76
宮崎	0	0	0	0	0/1	0/1
那覇	0	0	1/1	2/3	3/4	6/8
ローマ	2/4	1/1	2/2	0	1/1	6/8
ミラノ	8/11	16/19	18/19	9/9	4/4	55/62
一次免除	0	2	0	0	0	2
計	91/101	320/372	465/532	464/545	339/414	1679/1964

*表の数字は受験者数/志願者数

—第 33 回試験の内容に関する Q&A—

(会場アンケートより)

- Q1) 5級 N50-56 で fiorentino が重複していたが？
A1) ミスプリントではありません。二語続けることにより強調表現となっています。ここでは、firenze 生まれ firenze 育ちの「生粋のフィレンツェ人」という意味。二語続けての表現は、buono buono, difficile difficile など多くあります。
- Q2) いつもリスニングが難しい。レベルアップの方法は？
A2) リスニングの CD をききながらリピートしましょう。何回かリピートしたら、今度は自分で読んでみます。読むとき、単語ひとつひとつを分けて発音する癖をつけないように。イタリア人のように単語のつながる流れをまねることが大切です。テキストとしては、過去の問題集の何年か分を繰り返し練習をお勧めします。試してみてください。
- Q3) 5級パート III は見開きのページにしてほしい。
A3) 次回よりそのようにいたします。ご指摘ありがとうございました。

◇33 回からの改訂について

3 級の作文を筆記に含め、リスニング部門と筆記部門の 2 部門の評価に変更となりました。

これは、3 級レベルとして受験者の便宜を図るための変更ですが、作文が 2 級以上において重要な要素であることは変わりません。結果表には作文の得点も表記してあります。自分の得点を確認して、今後の学習を継続していただきたいと思ひます。

■第33回検定でのアンケートから

- ① 過去問題集の級別のもも出版してほしい。⇒ 実現に向け検討いたします。
- ② 1、2級も年2回を、とのご要望、また検定料が高い。⇒ 趣旨はよくわかりますし、お応えしたいのですが、年間2回の検定の志願者は約3,500~3,800名のため経済的な余裕がないのが現状なのです。よく比較される仏検は、年間3万人以上の志願者です。まずは受験者募集活動の努力をいたします。皆様もどうぞお友達を誘い合わせて、受験してご支援くださいますよう、よろしくお願ひいたします。
- ③ 他のイタリア語の試験と日程が重複しないように配慮を願

う。⇒ CILS 及び 通訳案内士国家試験(二次試験)とは重ならないように、配慮しております。ちなみに今年は当検定の二次試験は12/4ですが、他の両検定とも12/11です。

- ④ 試験中のトイレや中途退出について ⇒ トイレがご心配の体調の方は、どうぞ事前(なるべく出願時)に、サポートセンターへお申し出ください。座席配置で出入口に近い席を配慮しております。急に具合が悪くなられた場合は、静かに挙手をいただき、対応しております。また、途中退出については、他の受験者の方のご迷惑となるため、ご遠慮いただいていますことをご理解ください。

■お詫び

(大阪会場)

一部の教室で音響機器が不備で時間が遅れてしまったことを深くお詫びいたします。今後、事前の会場側の整備の確認を徹底するようにします。

(東京会場)

大学構内の会場の誘導表示が少ないとの意見が多くありました。案内係をひとり配置しておりましたが、今後留意いたします。また、6階で大学の演劇サークルの活動があり、5階の午前の試験ではご迷惑をおかけしました。今後は事前の会場側との打ち合わせをさらに徹底いたします。

(ミスプリント)

3級の問題番号にミスプリントがあり、ご迷惑をおかけし、お詫びいたします。

■受験体験記



偶然、イタリア人のご婦人がイタリアの家庭料理の作り方をイタリア語で説明しているテレビ番組を見たのが、イタリア語との出会い。料理につられて、イタリア語の学習書を購入し、動詞が90通りに変化するという恐ろしい記述にでくわすも、別の文法書の外国人が学ぶには最適のことばという語り口調にのせられ、文法を2-3か月で一通り読むと、日本語に似た語感もあって面白い。日本人とのメール交換を希望するサイトで見つけたイタリア人と、メール交換に挑戦することに。辞書片手の拙いイタリア語でも、ほめ上手なイタリア人とのメール交換で楽しさも手伝い、イタリア映画にチャレンジしてみたが、聞いたり話したりすることはまるでダメ。定年を間近に控え、時間のゆとりができたのを機に、7月から語学学校に通いはじめた。逐語訳中心の40年前の語学教育しか受けたことのない身にとっては、母語とする先生から習うのは初めて。さらに、読解にしても、聞き取りにしても、細部はいいから大意を掴みなさいという先生方の教えは新鮮で、おおらかに、しかし集中して教材を読み、聞き、そのたびに流れとして何を言っていたかを考えよう、それをイタリア語で説明しよう、と努力する癖がつき、これが案外効果的。進み方は人の倍以上かかっている気がするが、聞き取りもちよとずつ進んでいる。このたび学校のカリキュラムの一環で、実はあまり興味のなかった検定を受験。手ごたえはそれなりに！

(4級受験 奥田治幸)

協会より 奥田さんは高得点で合格でした！

◆第34回(2012年春季) 実用イタリア語検定◆

実施日:

2012年3月4日(日) 3・4・5級

申込受付期間:

2012年1月6日(金)~1月27日(金)

◆第35回(2012年秋季) 実用イタリア語検定◆

一次試験実施日:

2012年10月7日(日) 1~5級の全級実施



■受験者の方へのお願い

*表札がなかったり、郵便受に名前がなかったりしますと、郵便物が届かずに戻ってくる場合がありますのでご注意ください。

*マークシートはHBの鉛筆で、2Bなどの濃すぎるものや、ボールペンだと機械での採点が正確にできないことがあります。また、マークシートの記入は記入例を見て、はみ出ししたりしないように丁寧に塗りつぶしてください。特に0と1、隣り合った数字の塗り間違いにご注意ください。

■NPO 活動について■

NPO 活動についてのアンケートに、多数のご意見をいただきありがとうございました。

日伊の市民交流に役立つ情報の発信にむけ、ホームページの充実をまいります。

まずご希望が多かった、イタリア語の必要な求人情報の発信と、日伊交流情報から始めていきたいと思ひます。2012年1月からホームページにアップを目標です。

アンケートからひとつご紹介:「ラクイナの被災地の皆さんの生活はどうなのでしょうか? 日本もイタリアも地震国、もっと通じ合える機会があればいいと思ひます。」(京都会場受験者)

→日本の支援で、コンサートホールが今年5月に落成したとのこと。紙製パイプを組み合わせて壁や天井などがつくられたユニークな建物とのこと。

皆様からの情報もどしどしお寄せいただけますよう、心よりお待ちしております。ホームページの対応が整いますまでは、info@iken.gr.jp をご利用ください。